

# トルコ

2022年10月11日  
海外調査部・イスタンブール事務所

2021年のトルコの実質GDP成長率は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響からの回復により、政府目標の9.0%を上回る11.0%となった。2021年の貿易は外需が好調で、輸出が前年比32.8%増、輸入が23.6%増と、輸出の伸びが輸入の伸びを上回り、貿易赤字は縮小した。対内直接投資額も31.1%増となり、6年ぶりに前年比増となった。日本との貿易額は、日本からトルコへの輸出が19.7%増、トルコからの輸入が17.4%増だった。日本のトルコ向け直接投資は、前年を大きく割り込んだ2020年から増加に転じ、73.8%増となった。

## ■輸出と個人消費の増加が成長を牽引

2021年のトルコ経済は、新型コロナ感染拡大に伴うロックダウン（都市封鎖）の影響を受けながらも、政府の景気刺激策や雇用と生産活動を維持する政策が功を奏し、実質GDP成長率は前年の1.8%から11.0%へと急伸した。需要項目別にみると、コロナ禍からの世界的な需要回復に伴う財貨・サービスの輸出（前年比24.9%増）と民間最終消費支出（15.1%増）の増加が成長を牽引した。それに伴い機械・設備投資を含む国内総固定資本形成も6.4%増となるなど、経済活動の再活性化が背景にある。

表1 トルコの需要項目別実質GDP成長率

	2020年	2021年				2022年	
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	
実質GDP成長率	1.8	11.0	7.3	21.9	7.5	9.1	7.3
民間最終消費支出	3.2	15.1	6.9	23.3	9.1	21.4	19.5
政府最終消費支出	2.2	2.1	△ 0.1	3.2	7.9	△ 1.9	0.9
国内総固定資本形成	7.2	6.4	12.4	20.8	△ 1.9	△ 0.8	1.1
財貨・サービスの輸出	△ 14.8	24.9	3.9	60.9	25.5	20.7	16.8
財貨・サービスの輸入	7.6	2.0	△ 1.0	19.9	△ 8.9	2.6	2.3

[注] 四半期の伸び率は前年同期比。  
[出所] トルコ統計機構（TUİK）

他方、外為市場でのトルコ・リラ（以下、リラ）急落（2021年の1年間で、対ドルで約45%下落）の影響を受けて、2021年の消費者物価指数（CPI）は前年比36.1%（2021年12月の前年同月比）と高進し、同年9月に発表された政府の中期経済計画の同年末インフレ（CPI）目標値16.2%を大きく上回った。背景として、レジェップ・タイップ・エルドアン大統領が「利上げが物価上昇の要因」として、「投資、雇用、生産、輸出、利下げが経済成長を後押しする」という方針を打ち出したことがある。それを受けて、トルコ中央銀行（以下、中銀）は、既にインフレ率を下回っていた政策金利を2021年9月から4カ月連続で引き下げ、12月にはさらに14.0%とした。

2022年第1四半期の実質GDP成長率は前年同期比7.3%となり、コロナ禍からの回復が継続した形となった。他方で、CPIは2022年に入ってから上昇を続け、6月には前年同月比78.6%を記録し、家計を圧迫している。輸出も、ロシアによるウクライナ侵攻に伴い、主要輸出先であるEUなどで景

気の不透明感が強まったことから、2022年第1四半期は前期に比べて伸びが鈍化している。

## ■輸出の伸びが輸入の伸びを上回り、貿易赤字は縮小

2021年の輸出は前年比32.8%増の2,252億1,800万ドル、輸入は23.6%増の2,714億2,600万ドルで、貿易赤字は前年比7.4%減の462億800万ドルとなった。リラ安の影響により輸出競争力が高まったことなどが好調し、輸出の伸びが輸入の伸びを上回った。

輸出を品目別にみると、鉄鋼が前年比93.8%増で最大のプラス寄与となった。通貨安に加えて、中国が鉄鋼の輸出を引き締めたことや、コロナ禍からの経済回復が進み、世界的に鉄鋼の需要が高まったことなどが背景にある。自動車・同部品（13.2%増）、一般機械（23.7%増）、電気機器（29.1%増）、金を中心とした貴金属類（63.8%増）、プラスチック製品（43.7%増）といった主要品目も軒並み好調だった。

表2 トルコの主要品目別輸出入<通関ベース>

(単位：100万ドル、%)

	輸出 (FOB)					輸入 (CIF)			
	2020年 金額	2021年 金額	2021年 構成比	2021年 伸び率		2020年 金額	2021年 金額	2021年 構成比	2021年 伸び率
自動車・同部品	22,098	25,023	11.1	13.2	鉱物性燃料	28,925	50,692	18.7	75.3
一般機械	16,796	20,775	9.2	23.7	一般機械	25,272	30,967	11.4	22.5
鉄鋼	8,803	17,063	7.6	93.8	鉄鋼	15,103	27,618	10.2	82.9
電気機器	9,303	12,011	5.3	29.1	電気機器	17,140	19,964	7.4	16.5
貴金属類	6,693	10,965	4.9	63.8	プラスチック製品	11,739	17,590	6.5	49.8
ニット衣料	8,385	10,781	4.8	28.6	自動車・同部品	15,291	15,596	5.7	2.0
プラスチック製品	6,971	10,015	4.4	43.7	有機化学品	5,888	9,341	3.4	58.6
鉄鋼製品	6,361	8,801	3.9	38.4	貴金属類	26,591	7,074	2.6	△ 73.4
鉱物性燃料	4,715	8,507	3.8	80.4	医薬品	4,958	6,875	2.5	38.7
非ニット衣料	6,599	7,513	3.3	13.9	アルミニウム・同製品	3,408	6,593	2.4	93.5
果実・ナッツ類・豆類	4,830	5,367	2.4	11.1	銅鉱・同製品	3,212	5,266	1.9	63.9
アルミニウム・同製品	3,061	5,173	2.3	69.0	光学・精密機器	4,754	4,883	1.8	2.7
家具	3,897	4,787	2.1	22.9	穀物	3,281	4,249	1.6	29.5
ゴム・同製品	2,656	3,455	1.5	30.1	綿・綿糸・綿布	2,543	3,715	1.4	46.1
合計（その他含む）	169,638	225,218	100.0	32.8	合計（その他含む）	219,517	271,426	100.0	23.6

[注] 2021年は暫定値  
[出所] トルコ統計機構 (TUIK)

輸出を国・地域別にみると、全体の41.3%を占めるEU（EU27からキプロスを除く）向けが前年比32.9%増となった。特に、ドイツ（20.9%増）、イタリア（42.0%増）、フランス（26.7%増）、スペイン（44.0%増）、オランダ（30.3%増）が好調だった。また米国（44.6%増）、英国（22.0%増）なども大きく増加しており、通貨安に加えて、輸送コストの上昇により主要国がサプライチェーンの見直しを行ったことも、トルコの輸出増加の一因になったとみられる。

輸入を品目別にみると、最大の輸入品目である鉱物性燃料が、国際エネルギー市場の価格高騰および通貨安の影響を受け、前年比75.3%の大幅増となった。トルコ国内の電力・ガスも価格上昇が続いている。また、世界的な原材料価格の高止まりから、鉄鋼も82.9%増となった。

国・地域別では、天然ガスを主力とするロシアからの輸入が、前年比62.4%増となった。中国も39.9%増と好調だった。EUはドイツ（0.1%増）からの輸入が鈍化した。イタリア（25.7%増）、フランス（13.5%増）などが好調で、EU全体では16.4%増となった。

2021年1月にトルコと英国の自由貿易協定（FTA）が発効し、2022年2月にトルコはウクライナとのFTA締結に署名した。

## ■対内直接投資額は6年ぶりに前年比増

中銀発表の国際収支統計によると、2021年の対内直接投資（株主資本、フロー）は前年比31.1%増の75億9,200万ドルとなり、2016年から続いていた低迷から抜け出し、6年ぶりに前年比で増加した。地域別では、全体の34.0%を占めるEUからの投資は前年比14.2%減と振るわなかったが、国別ではEUを離脱した英国が3倍の伸びで首位、次いで米国が45.1%増と前年に引き続き好調だった。オランダは69.6%増で前年同様3位だった。中東や近隣諸国では、関係を改善させたアラブ首長国連邦(UAE)から7.6倍と急増した一方で、主要国であったカタール(62.5%減)とアゼルバイジャン(19.4%減)は縮小が続いている。アジアでは、大手繊維・化学メーカーの暁星(Hyosung)が欧州からの需要増を受けてスパンデックス工場拡張での投資を発表したほか、現代自動車による増資や、サムスン電子によるスマートフォンの組み立て生産の開始など活発な動きがみられ、韓国が6.9倍の伸びとなった。

業種別では、前年低調だった卸・小売業が前年比5.8倍と大きく伸び、全体を牽引した。同じく製造業も、輸送機器(9.2倍)、コンピューター・電気・電子機器・精密機器(2.1倍)、ゴム・プラスチック(7.1倍)、食品・飲料(53.1%増)が特に伸び、全体で53.5%増となった。

2021年のM&A案件では、ドイツのフラポートとトルコのTAVによるアンタルヤ空港運営権および拡張(約82億ドル)が最大の案件だった。次いでEコマース大手のトレンドヨルが約14億ドル(米国、UAE、カタール、日本)、また日用品配送ブ

ラットフォームのゲティルが2021~2022年にかけて合計約16億ドル(トルコ、米国、UAE、ブラジル)の資金調達に成功し、相次いでデカコーン<sup>1</sup>となった。また、フィンランドのフッタマキ(Huhtamaki Oyj)による軟包装のエリフ・ホールディング(Elif Holding)の買収(約4.8億ドル)などの買収案件が報告されている。

トルコからの対外直接投資は、前年比46.6%増の46億1,900万ドルだった。地域別ではEU向けが前年比55.8%増となった。国別では、税制優遇で有利なオランダへの投資が59.3%増と2017年以来の伸びとなり、首位を堅持した。米国への投資も57.9%増と、前年からの伸びが続いている。英国(2.2

表3 トルコの国・地域別対内・対外直接投資  
＜国際収支ベース、株主資本、フロー＞

(単位: 100万ドル、%)

	対内直接投資				対外直接投資			
	2020年		2021年		2020年		2021年	
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
EU27(注2)	3,008	2,582	34.0	△ 14.2	1,352	2,107	45.6	55.8
オランダ	598	1,014	13.4	69.6	875	1,394	30.2	59.3
ドイツ	287	466	6.1	62.4	125	211	4.6	68.8
ルクセンブルク	425	351	4.6	△ 17.4	8	95	2.1	1087.5
アイルランド	237	222	2.9	△ 6.3	1	0	0.0	全減
フランス	168	135	1.8	△ 19.6	18	19	0.4	5.6
オーストリア	57	103	1.4	80.7	109	7	0.2	△ 93.6
スペイン	87	67	0.9	△ 23.0	13	71	1.5	446.2
イタリア	977	39	0.5	△ 96.0	12	59	1.3	391.7
ルーマニア	0	0	0.0	-	100	73	1.6	△ 27.0
英国	474	1,436	18.9	203.0	132	296	6.4	124.2
スイス	162	540	7.1	233.3	85	180	3.9	111.8
米国	813	1,180	15.5	45.1	852	1,345	29.1	57.9
中東	754	907	11.9	20.3	465	298	6.5	△ 35.9
アラブ首長国連邦	65	495	6.5	661.5	354	243	5.3	△ 31.4
カタール	400	150	2.0	△ 62.5	0	2	0.0	全増
アゼルバイジャン	186	150	2.0	△ 19.4	99	25	0.5	△ 74.7
アジア	443	874	11.5	97.3	126	168	3.6	33.3
韓国	50	345	4.5	590.0	8	0	0.0	全減
日本	149	259	3.4	73.8	0	3	0.1	全増
中国	0	89	1.2	全増	12	29	0.6	141.7
カザフスタン	0	4	0.1	全増	67	83	1.8	23.9
合計(その他含む)	5,791	7,592	100.00	31.1	3,151	4,619	100.0	46.6

[注1] 2021年は暫定値。

[注2] キプロスはトルコと外交関係がないため含まれていない。

[出所] トルコ中央銀行

<sup>1</sup> 株式評価額(時価総額)が100億ドル以上と評価される未上場のベンチャー企業。ユニコーン(評価額10億ドル)の10倍。

倍)、スイス(2.1倍)、ドイツ(68.8%増)も好調だった。アジアでは前年同様に、中国(2.4倍)、カザフスタン(23.9%増)が伸びた。

業種別では、食品・飲料(5.3倍)が好調だった。前年落ち込んだ運輸・倉庫業(22.3倍)や建設(79.6%増)が回復した一方で、前年好調だった電力・ガス供給(77.0%減)や情報・通信サービス(81.8%減)が減少となった。

## ■日本からの輸出入・投資額はともに増加

日本の財務省「貿易統計(通関ベース)」でトルコとの貿易をみると、2021年は輸出が31億8,909万ドル(前年比19.7%増)、輸入が8億919万ドル(17.4%増)だった。貿易黒字は、前年より20.6%増加し、23億7,990万ドルとなった。

輸出は、全体の27.5%を占める一般機械が、建設用・鉱山用機械(前年比74.4%増)と金属加工機械(68.5%増)が牽引し、23.0%増と好調だった。また鉄鋼が70.9%増と大きく伸ばしたほか、プラスチックも51.2%増と好調だった。他方、輸送用機器は、世界的な半導体不足や新型コロナ感染拡大による部品調達停滞を要因に、日本での自動車生産台数が減少したことから自動車が7.7%減となり、輸送用機器全体でも1.4%増と低調だった。

輸入では、最大の構成比(33.6%)を占める食料品が前年比10.0%増となった。特にマグロを主力とする魚介類が19.2%増と好調だった。他方、パスタを主力とする穀物類は23.7%減と振るわなかった。輸送用機器は自動車(3.3倍)を中心に33.5%増となり、鉄鋼も54.1%増と好調だった。

表4 日本の対トルコ主要品目別輸出入<通関ベース>

(単位:100万ドル、%)

	輸出(FOB)					輸入(CIF)			
	2020年		2021年			2020年		2021年	
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
一般機械	713	877	27.5	23.0	食料品	247	272	33.6	10.0
建設用・鉱山用機械	123	215	6.7	74.4	魚介類	90	108	13.3	19.2
原動機	181	191	6.0	5.7	果実	43	51	6.2	16.4
金属加工機械	68	115	3.6	68.5	穀物類	53	41	5.0	△23.7
繊維機械	72	98	3.1	35.6	野菜	24	26	3.2	9.8
ポンプ・遠心分離機械	75	82	2.6	9.6	その他	159	180	22.3	13.1
電気機器	655	674	21.1	2.9	衣類・同付属品	122	137	16.9	12.0
電池	198	219	6.9	10.6	バッグ類	10	12	1.5	23.4
重電機器	165	154	4.8	△6.3	原料別製品	72	93	11.5	29.7
電気計測機器	87	99	3.1	13.9	織物用糸・繊維製品	32	36	4.4	12.3
輸送用機器	564	572	18.0	1.4	鉄鋼	17	26	3.2	54.1
自動車の部分品	372	387	12.1	4.1	非金属鉱製品	11	16	2.0	41.8
自動車	179	165	5.2	△7.7	金属製品	5	10	1.2	94.1
原料別製品	418	646	20.3	54.7	原料品	55	67	8.3	21.9
鉄鋼	280	479	15.0	70.9	輸送用機器	47	62	7.7	33.5
金属製品	58	63	2.0	8.5	自動車	9	31	3.9	234.4
化学製品	161	214	6.7	32.9	自動車の部分品	20	25	3.1	22.5
プラスチック	50	75	2.4	51.2	化学製品	41	48	6.0	18.9
有機化合物	44	57	1.8	28.4	医薬品	21	22	2.7	3.3
合計(その他含む)	2,663	3,189	100.0	19.7	合計(その他含む)	689	809	100.0	17.4

[出所] 財務省「貿易統計(通関ベース)」をドル換算

トルコの国際収支統計で、日本のトルコ向け直接投資(株主資本、フロー)をみると、2021年は前年比73.8%増の2億5,900万ドルとなり、大きく鈍化した前年から増加に転じた。東アジアからでは韓国(3億4,500万ドル)に次ぐ規模だった。

投資事例としては、4月に宇部興産のスペイン子会社がトルコ駐在員事務所を設立。8月にはソフトバンクグループの「ビジョン・ファンド2」とゼネラル・アトランティックが共同で主導したファ

ンドがトレンドヨルに出資し、12月には加賀電子がトルコに電子機器の受託製造サービスの新工場立ち上げを発表した。また11月には、日本郵船がトルコのオヤク・グループと合弁で運営するマルマラ海のヤルムジャ港完成車ターミナルが完成し、2022年3月末に本格稼働を始めた。

2022年以降では、4月に学研のグループ企業であるアイ・シー・ネットがイズミルに現地法人を設立し、5月にホシザキのグループ会社、オズティルヤキレルがチョルルに新工場を建設、生産を開始した。また同月には、三菱電機がマニサに約130億ドルを投資して、空調機生産の新工場を建設すると発表している。

### 主要経済指標

	2019年	2020年	2021年
①人口：8,468万人（2021年）			
②面積：78万3,562km <sup>2</sup>			
③1人当たりGDP：9,528米ドル（2021年）			
④実質GDP成長率（%）	0.9	1.8	11.0
⑤消費者物価上昇率（%）	11.8	14.6	36.1
⑥失業率（%）	13.7	13.2	12.0
⑦貿易収支（100万米ドル）	△ 29,512	△ 49,879	△ 46,133
⑧経常収支（100万米ドル）	5,303	△ 35,537	△ 13,696
⑨外貨準備高（100万米ドル）	78,532	49,958	71,046
⑩対外債務残高（100万米ドル）	415,982	432,847	441,064
⑪為替レート（1米ドルにつき）	5.67	7.01	8.85

〔注〕⑦⑧：2021年は暫定値

〔出所〕①④⑤⑥⑦：トルコ統計機構(TUIK)、②：CIA The World Factbook、③⑨⑩：IMF、⑧⑩：トルコ中央銀行

（お問い合わせ先）

海外調査部 中東アフリカ課

ORH@jetro.go.jp